

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 1 月 31 日作成)

小委員会名	木質構造の振動障害に関する設計資料作成小委員会	主 査 名：中村 昇 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (木質構造運営委員会)	委員長名：塩原 等 主 査 名：五十田 博
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2020 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>これまで、木質系住宅の水平加速度レベルの現状を明らかにし、その増幅量を低減できるよう設計に盛り込むことや、大スパン木質床の振動性状と人体知覚を包含した床の設計手法を確立することを目的とし、それらをまとめて「木造建築物の振動に関する設計資料(案)」の作成を目指して活動してきた。しかし、問題点が多く、まとめきれていないが、実験データは蓄積して来ている。そこで、これまでの実験および既存のデータをもとに、上記の設計資料(案)の作成を行ない、講習会を開催し、広く成果を発表することを目的とする</p> <p>初年度：これまで行なってきた実験データをまとめ、これを基にして、設計資料(案)の目次および執筆者を決める。また、大会において PD を開催し、これまでの知見に対する会員の意見をうかがい、設計資料に反映させる。</p> <p>2 年度：目次にしたがい、順次執筆していく。また、必要があれば実験を行い、データを増やしていく。</p> <p>3 年度：執筆を完了し、木質系住宅の加速度レベルを低減できる設計資料(案)」を刊行する。また、講習会を開催し、広く成果を発信する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：中村 昇(秋田県立大学) 幹事：佐野泰之(名古屋工業大学)、藤野栄一(職業能力開発総合大学校) 委員：伊積康彦(鉄道総合技術研究所)、松本泰尚(埼玉大学)、新藤智(法政大学)、守屋嘉晃(建材試験センター)、権田将也(三井ホーム)、宇京斉一郎(森林総合研究所)、丸谷周平(山下設計)、伊奈潔(中央建鉄)、杉本健一(森林総合研究所)、横山裕(東京工業大学)、高橋武宏(一条工務店)、鎌田貴久(日本大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2017 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等)	
大会研究集会	1. PD：木質構造の交通振動や歩行振動に対する応答と設計 参加者数 150 名 『構造部門 (木質構造) パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 設計資料の目次および内容、執筆担当者を決め、順次執筆にとりかかった。</p> <p>2. 大会 PD を開催し、参加者からの意見を踏まえ、設計資料の内容に反映させた。</p> <p>3. これまで得られた、水平振動に対する木造住宅の応答加速度に関して解析を行い、振動を考慮した設計にどのように用いることができるか検討した。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	1. 特になし